



短期留学生&訪問団 リバモアへ出発！



大盛況のポットラックパーティー



目次・Contents

- P1. 訪問団が姉妹都市リバモアへ
大盛況のポットラックパーティー
- P2. YOCCA総会のご案内
YOCCA会員更新と登録情報確認のご案内
- P3. 【連載外国籍市民インタビュー】クローズアップ！
- P4. 【連載コラム】Think You Know Yotsukaido!?

- P5. リバモアからの義援金、香取市へ
- P6. 協会の活動報告
市内の団体紹介
- P7. 各部会からの活動案内と募集
- P8. 【ピックアップ】初めまして～所属会員の自己紹介～
協会からのお知らせとイベントスケジュール
編集後記、会員募集のご案内

四街道市国際交流協会 平成24年度 総会のご案内

平成24年度の総会を下記の要領で開催します。会員の方はぜひご出席ください。

開催日時	平成24年5月20日(日) 10:00~12:00
開催場所	四街道市文化センター 203号室
総会次第	平成23年度活動報告及び会計報告 平成24年度活動予定及び予算報告

会員登録更新のお願いと登録情報の確認・更新のお願い

平成24年度会員登録更新(年会費納入)についてのお願い

平成24年度年会費の納入について、下表により各会員別の年会費をご確認いただきまして、同封しました払込用紙にて年会費の納入をお願いいたします。

YOCCA年会費

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ● 個人 : 1□ 2000円/年 | ● 学生 : 1□ 1000円/年 |
| ● 家族 : 1□ 3000円/年 | ● 法人・団体 : 1□ 10000円/年 |



会員登録情報の更新のお願い

入会時にご記入いただきました“第一連絡先”について更新をお願いします。“所属を希望する部会”でチェックを入れていただいた部会からは、各部会ごとに“第一連絡先”宛に部会の集まりやイベントなどの連絡をさし上げています。

また、積極的にイベントの企画や実施準備など、部会の運営にたずさわっていただけの方も募集しています。

登録情報更新の用紙を同封しましたので、そちらで確認の上ご連絡ください。



YOCCAの外国人会員や四街道市内在住の外国籍市民にインタビューする
クローズアップコーナー。今回と次回はYOCCA理事の劉朝莉さんです。

心と心がつながれば、きっと世界中の人たちが仲良くなれる。

YOCCA理事 刘 朝莉 さん

2000年来日。中国・河南省出身、北京で育つ。中国では薬剤師として病院の薬局で働く。現在は自宅で中国語教室を開くなど、市内で中国語を教えている。

「おばさん」と呼びなさい！

現在自宅や市内の中国語教室で中国語を教えています。生徒さんはご高齢の方が多いのですが、英語ができる人など、今でも非常に知的好奇心の旺盛な方々ばかり。だから私もすごく刺激を受けるんです。きっと日本だと、それまで仕事を一生懸命してきたから、定年を迎えた後も何かに取り組んでみたいと思われるのでしょうかね。中国だと「年を取ったから勉強してもしょうがない」と思うからでしょうか、60歳を過ぎたら勉強しなくなる傾向にあります。だから私の生徒さんの“学ぶ意欲”に、ただただ「すごいなあ」と思うばかりです。

一方で、日本では妙齢の女性に呼びかけるときに「おばさん」と言ふと怒られますよね。それが日本に来て一番のカルチャーショックでした。日本に来て3ヶ月後くらいにアルバイトで働き始めたとき、70歳くらいの女性に対して「おばさん！」と言ったら、「おばさんじゃないよ！」と怒られてしまったんです。中国では自分の親と同じくらいの世代の人に対して「おじさん」(叔叔: シューシュー) 「おばさん」(阿姨: アーイー) と呼びかけます。むしろ直接名前を言うと失礼とさえ思われます。中国語には、日本語の「さん」にあたる言葉が無いからです。子どもが20代の女性に対して呼びかける時も「阿姨」と呼びます。日本語の「おばさん」とはニュアンスが全然違うんです。日本では40代の女性にも「お姉さん」と呼ぶように言われるかもしれません、中国ではとても失礼になります。大人の女性に対しては、ちゃんと尊敬の念を込めて「阿姨」と呼びなさいとたしなめられます。だから先の女性に対しては、もちろん尊敬の念を込めて「おばさん」と呼んだのに怒られた。怖かったし、どんなふうに呼べば良いかわからなくなっています。それで日本語学校の先生に聞いたら「～さん」と呼びなさいと言われました。

このまま日本で生きていく？

日本に来て今年で12年になります。2000年3月25日に来日し、それ以来私はずっと四街道に住んでいます。夫が千葉県内の大学に留学していて、私があとからきました。最初は夫は学校が終わったら中国に帰って来るものだと思っていた。日本語学校には1年半くらい通いました。学校に入る前に少し勉強していたので、学校の入学試験を受けるときは読み書きはちょっとだけ出来ていました。だから日本語学校は入門クラスを飛ばして初級クラスに入れられました。でも発音に関しては「あいうえお」すらも満足に出来ない状態だったんです。しかもずっと家にいると、私の日本語の発音を直してくれる人がいません。なぜなら夫も中国人ですから。夫が日本人なら、発音をまねることができるんですけどね。

そんな私も、おかげさまで日本での生活に馴れました。このま

ま日本にいてもいいと思っているくらいです。上の息子は20歳だから、日本での生活の方が長くなったりし、下の娘は日本に来てから生まれたわけですから、子どもたちにとっては日本の方が良いかもしれません。下の娘なんて、ちょっと前までは「自分は日本人だ」と思っていたくらいです。彼女は、以前は中国語を聞くことはできても話せませんでした。私は娘に「あなたは中国人なんだから中国語を話せるようになりなさい」と言ったことはありません。私たち親や、上の子とは日本語で会話ができるから、私たち家族の間なら中国語が話せなくても問題ないんです。

でも中国にいる私の母とは、娘だけが会話できないんです。「中国人なのに中国語が出来ないなら、あなたの教育は失敗だよ。」と母に言われてしましました。私の両親は元教師だし、母にとってはかわいい孫娘だから、余計に娘には中国語を話してほしいと思ったんでしょうね。中国にいる叔母に1年ちょっと預けて、その間にこうの学校に通わせたんです。それで話せるようになりました。

子供の成長、学校のこと

しかし、中国から戻って来てから状況が変わりました。「自分は日本人ではなく、中国人なんだ」ということに気がついたんです。しかも中国での生活のおかげで、日本語をだいぶ忘れて帰って來ってしまった。だから小学校でからかわれるようになったんです。遠足の時に中国のお菓子を持って行き、他の子たちにも分けてあげようとしたら「中国のお菓子は毒が入っているから食べると死んじゃうよ！」と言われたそうです。でも私は、あえて気にしないようにしたんです。ひどいことを言うな、かわいそうだなと思いました。娘には「学校に行きたくない！」とも言されました。ストレスも溜まり、成績も下がりました。でも子どもの世界の話ですから私が首を突っ込むのもどうかと思いました。それに、私が先生に何か言いたくても、言葉の問題もあって上手く伝えられないですし。辛かったと思います。今は皆と仲良くなったり、もうすっかり学校が楽しみになっています。習字でも四街道市の賞をいただいて、文化センターにも展示されたのですが、心が落ち着いたことも大きいかもしれませんね。



次号では劉さんが実現させたいこと、その想いなどを
お伝えします。ご期待ください。

Think You Know Yotsukaido?

四街道を知り尽くそう!~『四街道知ってるか!?』 このコーナーはヨッカ副会長のデボン・マクネアさんが四街道を探索する連載コラムです。

Castles of Yotsukaido -Part 1-

Castles are something you just don't get to experience in America. Just the word summons images of kings and knights and fair princesses. My first experiences in Japan also involved castles -- Osaka Castle on my first business trip to Osaka,, Matsuyama Castle when I was travelling by myself, and even Otaki Castle when I first came to Chiba to live. The fact that little ole humble Yotsukaido could have held castles struck me as amazing. Doing some online research dimmed my optimism considerably. Most information was in blogs, showing pictures of a few trees and explanation along the lines of "this is where the gate was." Before abandoning the topic I set out with YOCCA's camera ma'am Ms. Shiraishi and her husband to take a walk



around at least one spot -- Kyodo No Mori (郷土の森), where there was once Shisiwatashi Castle(鹿渡城). It lies just on the south side of the JR tracks between Monoi and Yotsukaido stations. My understanding of Japanese history is terrible, but as I

understand it, during the Sengoku Era, (16th century) the Chiba family controlled this area and defended it with a network of castles and support castles. The main castle was in Usui, near Yukari ga Oka. Shisiwatashi Castle, and the remains of at least ten other castles around Yotsukaido, were mainly military bases or homes of aristocrats.



On the way, I said, "Hey, a friend of mine showed me another castle, right in a residential neighborhood, behind Yotsukaido City Hall. It's a miniature castle that the owner has built." After some initial wandering we found it. I'd seen it before but it was always at night while driving and I never got a good look at it. It was the first time I saw it in daylight, and was immediately struck by the level of detail -- with windows, stone foundation (石垣), tile roof with whale ornaments. Mr. Shiraishi seemed excited -- "This is exactly like Himeji Castle in Hyogo." He pointed to the downward-facing slots on the corners of the castle wall. "This is so soldiers can drop rocks on the heads of attackers trying to climb the walls. Also look -- some windows are round, for riflemen, and some are diamond-shaped for archers." The castle even had a genkan with a living garden (well, wild grasses and weeds) This was not just a yard decoration; it was a careful creation and recreation -- it must have taken years to build.

Feeling a bit shy, we rang the intercom on the gate, noting the name "Fujimoto." An older woman came out, and we cautiously and politely asked if the person who built the castle was at home. "No, it was my husband but he passed away three years ago. But come in. You can see the castle better from inside the gate."

Ms. Fujimoto was clearly very proud of her husband's accomplishment. A retiree of Japan's First Airborne Brigade (reminding me again how closely Yotsukaido's history is tied with the military) he decided to build something, and eventually decided on a scale model of Himeji Castle. But showing a wisdom which most hobbyists do without, from the beginning he planned three years to build it, carefully measuring pictures of the original, and drawing plans at precisely 1/20th scale of each of the four north, south, east, west faces, then spending months building the rock foundations layer by layer, modeling the ornaments in clay and firing them in an oven. The decorations on the roof, however, showed a bit of "artistic license" in using his own family seal (家紋) rather than the one on Himeji Castle. Construction began in 1989 (Heisei 1) and finished according to plan three years later.



Front gate garden



Family seal



Ninja Returns



Loophole (狭間: sama)

Did you have "Castles of Yotsukaido Part 1" enjoyed? Their search still continues. We announces "Part 2" by YOCCA News of next number.

四街道に城跡があることを知ったマクネアさん。城跡探索に行く途中、友人から聞いた「四街道には住宅街に城がある」という噂を、まず確かめに行くことに。

そのお城は藤本さんのご主人が姫路城をモデルに、石垣や白壁、瓦など細部に至るまで正式な築城技術を用いて造った20分の1の大きさのものでした。続きは次号の『四街道知ってるか?』でお伝えします。

"Think You Know Yotsukaido?" の日本語全訳を
会員向けに配布しています。
希望する人は協会までご連絡ください。

リバモアからの義えん金、香取市へ

1月19日(木)、旧姉妹都市市民の会の役員(*当時)4名が香取市役所を訪問しました。四街道の姉妹都市である米カリフォルニア州リバモア市からいただいた義えん金を届けるためでした。

この義えん金は、昨年3月11日に起きた東日本大震災に胸を痛めたLYSCO(リバモア・四街道姉妹都市市民の会)の皆さんから、昨年10月の四街道来市の折に千羽鶴とともに直接いただいたものです。

しかし、四街道は比較的軽微な被害に留まりました。いただいた義えん金をより有効に活用することを考え、四街道より被害が甚大な県内の街にお届けすることにしました。

その中でも香取市は、過去にリバモアからの訪問団が旧佐原市の伊能忠敬記念館や香取神宮を訪問したこともあり、親しみを感じていました。そのような経緯から、YOCCA発足前にリバモアから義えん金の打診を受けた旧姉妹都市市民の会の役員による、このたびの香取市役所訪問となりました。

市長室にて、香取市の宇井成一市長にご挨拶。

市長より、市内の建物約6200棟が全壊・半壊・一部損壊したことをお話いただきました。そして、「被害状況は、昨年の3月からほとんど変わっていません。傾いていた電柱がまっすぐになったくらいです。」と、香取市の被害の根深さと窮状を訴えられました。

なによりも被害をより大きくしたのが「液状化」だそうです。JR佐原駅周辺や市役所北側の約3500ヘクタール(※東京ドーム約750個分)もの広大な土地が液状化しました。建物は平均して40センチから45センチ沈み、深いところでは80センチも沈んだとのことです。震災後1ヶ月間断水が続き、今もなお水道の状況は悪いままだということです。

「復旧は、数年では終わりません。これから何十年も、この状況と戦っていかなくてはならないんです。まさに生き地獄です」このような惨状に一行は恐縮しながらも、義えん金を宇井市長に渡しました。

宇井市長より、今後は声をかけて頂ければ四街道市国際交流協会への協力もしていくという、嬉しいお言葉もいただきました。

この後、別室で香取市国際交流協会の皆さんと挨拶し、香取市の貴重な文化財を生かした国際交流についてお聞きしました。深い傷を負ってもなお、国際交流を続ける香取市国際交流協会の皆さんに敬意を抱きながら、市役所を後にしました。



～YOCCAの活動を報告します～



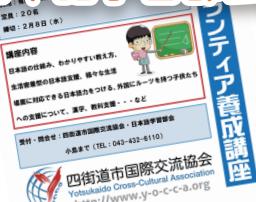
ヨッカ新年会
<交流部会>



にほんご教室水曜夜間
クラスの食文化交流会
<日本語学習部会>



日本語ボランティア養成講座
<日本語学習部会>



ティーサロン
<通訳語学研修部会>

四街道市国際交流協会 (YOCCA: ヨッカ) では、草の根の国際交流を促進することを目的に、「国際交流ボランティア登録制度」を設けて、協会が実施するさまざまな国際交流事業に協力していただくボランティアを募集しています。

ボランティア登録のお願い



市内で活動する
団体を紹介！

体験気功教室



堀川和子先生からのメッセージ

気功の基本は心身のリラックス。
ぜひお気軽に見学にお越しください。

● 場所・開講日

- ・毎週月曜：千代田集会所 9時半～11時半
- ・毎週月曜：保健センター3階 12時50分～2時40分

● 問合わせ：堀川和子先生

TEL: 043-422-6390

～YOCCAの各部会からの活動の案内や募集など～

日本語学習部会

- クラス状況の変化に対応すべく、またより良い活動ができるように日本語教室の規定を見直し、部会の運営体制、クラスの運営体制を変えました。
- 23年の大震災の教訓として、備えること、互いに助け合うことの大切さを痛感しましたが、我々の目の前は在住外国人との交流の最前線です。意識を新たに活動をして行きたいと思います。

4月～6月の予定

- スピーチ発表会の参加者募集を6月から始めます。
- 昨年度は浦安の交流会に参加を呼びかけましたが、今年は加えて、成田、佐倉にも呼びかける予定です。



交流部会

- 交流部会では、国籍を越えて楽しく市民同士の相互交流を促進しながら、「外国人の人の普段の生活に密着したサポート」を目指しています。言葉や習慣の違いによる不利益が少しでもなくなるように、市民あげての取り組みにまい進したいと考えています。
- 活動の企画や実施準備、その他部会の運営に参加してくださる方を募っています。

4月～6月の予定

- 「日帰りバス旅行」や「懇談会」を実施し、外国人との“心のキャッチボール”を活発にしていきます。



姉妹都市部会

姉妹都市、アメリカ合衆国リバモア市の市民の方々と、受け入れ・訪問のホームステイを通じて、相互交流を深める活動をしています。3月には訪問団、短期留学生達、総勢37名が訪米し、新たな厚い友情が育まれました。

4月～6月の予定

4月1日には、訪問団・短期留学生の帰国報告会を開催します。また、ふるさと祭り等に出店し、訪米経験者達との親睦も深めていきたいと思います。



通訳・語学研修部会

語学に関係のある様々な企画を提供していきます。2年目の春からは、通訳ボランティアのための研修プログラム、語学のエッセンスを取り入れた勉強会を毎月開きます。諸外国の文化の背景を知り、よりニーズにあった質の高い通訳翻訳ボランティアを目指します。また、災害時通訳ボランティアも募集中です。

4月～6月の予定

会員の方による語学に関わるお話を聞く、ティーサロンを毎月開催予定です。また、旅行会話入門（英語・中国語）講座を新設予定です。





内田恵玲です。中国大連出身。伝統文化が好きです。地域日本語教室と出会う機会を得て、YOCCAの活動することになりました。各種ボランティア養成などにも参加し、いろいろ体験して、ますます国際交流の意義を認識しています。中国のことを日本に紹介するなど、皆さんに役立てるように頑張りたいと思います。



4月～6月のイベントスケジュール

- | | |
|-------|--------------|
| 4月 1日 | リバモア訪問の帰国報告会 |
| 5月12日 | YOCCA総会 |
| 5月20日 | 日帰りバス旅行 |

寄付・広告募集のご案内

四街道市国際交流協会 (YOCCA:ヨッカ) は、市民の方々が世界に目を広げ、国際社会で活躍できるよう、また、市内在住外国人の方々が生活しやすいよう、さまざまな国際交流・国際協力の事業を行って参ります。

活動を充実していくとともに、民間の立場から国際交流・協力を通じて地域の発展や活性化に寄与して参りたいと考えております。

ボランティアによって運営している任意団体として、協会の活動を長期的に継続的に、かつ積極的に展開していくためには、協会の財政基盤の充実を図ることが必要となっております。

つきましては皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。詳しくは協会までお問い合わせください。

※寄付・広告募集のご案内はホームページからもご覧になれます。
<http://www.y-o-c-c-a.org/aboutus/donations-and-advertising>

ホームステイ・ホームビジット ボランティア募集!

YOCCAは通年事業として海外の人たちに日本を体験してもらう“ホームステイ・ホームビジットプログラム”を開始します。例えば『外国人留学生の週末を利用した日本家庭の体験』、『成田空港到着後の国内旅行準備』、『日本ならではの季節行事体験』など、日常生活に根ざした国際交流をしていただけるボランティアを募集しています。詳しくは協会までお問い合わせください。 国際交流協会事務局 TEL:043-312-6173 毎週月曜・水曜・土曜 午前10時～午後3時

ほん語教室・おやこサークルの保育ボランティア募集

ほん語教室・おやこサークルでは保育ボランティアを募集しています。おやこサークルは毎月第1・2・3金曜日の午前10時～正午 福祉センター8階・視聴覚室で行っています。詳しくは下記まで問い合わせください。

日本語学習部会・保育担当:馬場
TEL&FAX:043-423-1318

編集後記

2回目の広報誌編集を終えて、読面で伝えることの難しさを改めて感じています。色々な活動や、活動に参加している人たちの想いを、少しでも正確に読みやすく伝えたいと思います。お読みになった感想やご意見をいただければ励みになります。よろしくお願ひします。

編集スタッフ

編集長:茅森由佳(Yuka Kayamori)
取材・執筆:徳橋功(Isao Tokuhashi)
Devon McNare(デボン マクネア)
写真撮影:白石明子(Akiko Shiraishi)
監修:鈴木淳雄(Atsuo Suzuki)



★会員を募集しています★

市民の皆さんのが幅広い参加を通して積極的な国際交流活動を進めるため、協会の事業に賛同してくださる個人・団体の「会員」を募集しています。皆さんからの会費は国際交流や多文化共生の事業に活用させていただいている。

会 費 個人:1口2000円/年 家族:1口3000円/年
学生:1口1000円/年 法人・団体:1口10000円/年

申込方法 国際交流センターにて、申し込みを受け付けています。また、電話をいただければ「入会申込書」を郵送します。ご記入後に当協会へ郵送・FAX・メールにて送付いただくか、協会窓口までお持ちください。なお「入会申込書」は協会HPからもダウンロードできますのでご利用ください。

四街道市国際交流協会

【開館日】毎週月曜日・水曜日・土曜日

午前10時～午後3時

※開館日が祝日にあたる場合はお休みになります。

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2001-10

四街道市役所第二庁舎1階
国際交流センター内

TEL. 043-312-6173

FAX. 043-312-6176

E-mail. info@y-o-c-c-a.org



<http://www.y-o-c-c-a.org/>

携帯電話によるホームページのご案内 ▶▶▶



YOCCA NEWS 四街道市国際交流協会広報誌 Vol.2

発行日:平成24年3月31日 発行回数:年4回(6月・9月・12月・3月)
編集・発行:四街道市国際交流協会事務局 発行責任:武野寛子 編集長:茅森由佳